

(特活)ウッディチキン 様

拝啓

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは特定非営利活動法人 NEKKO の活動について、ご厚情を賜りまして厚くお礼申し上げます。さて、この度は貴重なご浄財をいただきまして誠にありがとうございます。領収書とお礼状をお送り致します。

今回のお礼状は日本から郵送しています。会報の発送と支援物資の再梱包、各種事務のため一時帰国中ですが、この手紙を投函した足で空港へ行って翌日には現場に戻ります。本年度から「見捨てられた子供の手を握るプロジェクト」が始まっています。家族、医療、行政など当たり前のように受諾できるはずのサポート、愛情から様々な事情で見捨てられた子供たちを探し出して、週に一度の粉ミルクと紙オムツの支援を続けると同時に、彼らの様子を見守る活動です。誰にも気づいてもらえない、誰も助けてくれない、そんな子供たちの最後のセーフティネットとなる活動だと考えています。私が日本に一時帰国している間、支援なしで自活する挑戦をしていた対象児童の家族が、「頑張ったけど粉ミルクは高価で十分に買えない…」、との連絡がありました。支援の粉ミルクと紙オムツが届かなくなって、栄養失調気味になっているそうです。ちょっとした非常事態ですね、予定を早めて現場へ戻ります。貧しいことは恥ずかしいことではないと思うのです。貧しくて飢えるぐらいなら、誰かに助けを求めて欲しい。自分の言葉で助けを求めることが難しい子供（障害がある・まだ乳幼児・栄養失調など）には、理屈や言葉じゃなく飢えを満たすことだけに注力したいと考えています。子供にとって、空腹ほど辛いことは無いと思うのです。このプロジェクトを支えているのは、皆様からの義援金・寄付です。本当にありがたく思っています。

近年の円安でフィリピンの物価が急上昇しています。当団体もこれまでの予算で、これまでと同様の活動が出来なくなっています。物価高、これは日本も同じではないでしょうか。当団体の活動も例年以上に出費が多くなって、節約と我慢で乗り切る努力を続けています。こんな財政の非常事態の最中でも支援者・個人会員の皆様からの変わらぬ支援・応援・義援に助けられています。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

皆様の理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございます。

まずは略儀ながら書面にてご挨拶申し上げます。

敬具

特定非営利活動法人 NEKKO

代表：富田 一也



支援者の皆様から届いた古着を、貧しい地域に住む人々に手渡しました。皆様の気持ちを確実に現地の貧しい人々に届けます。皆様の支援に心より感謝をしています。ありがとうございます。

2月に寄付をして下さった皆様へ、ありがとうございます。



校舎が無かった小学校に当団体でプレハブ校舎を建てました。暑さ対策で天井に断熱材を追加で施工し、皆様からの寄付金・義援金で扇風機を設置しました。皆様のご協力に感謝をしています。



8月に寄付をして下さった皆様へ、ありがとうございます。



新しいプロジェクトが始まりました。「見捨てられた子供の手を握るプロジェクト」です。行政のサポートや家族のサポート、保険などから見捨てられて日々の食事や医療費、紙オムツの購入などで消耗している子供たちに行政と連携しながら粉ミルクや紙オムツ、サプリメントなどの支給をしています。毎週の訪問で彼らをサポートします。皆様のご協力に感謝をしています。ありがとうございます。本プロジェクトの応援をお願い致します。



11 月に寄付をして下さった皆様へ、ありがとうございます。



心臓の手術費用の支援をお願いしていたアリーアちゃんがつい手術の日を迎え、無事に成功しました。手術支援の 캄파は 100 万円以上集まりました。行政の手が届かない「見捨てられた子供たち」に歩行補助機や車椅子を支給しています。毎週の巡回訪問と粉ミルクや紙おむつの支給、アエタ族の村での植林も忘れていません。支援物資も配布しています。皆様の支援とご協力に感謝をしています。ありがとうございます。